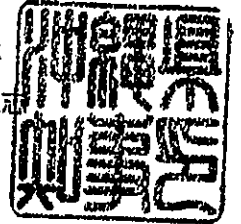




環政第1682号  
平成29年1月27日

沖縄防衛局長  
中嶋 浩一郎 殿

沖縄県知事  
翁長 雄志



宜野湾市湧水において検出された有機フッ素化合物の対策等について（要請）

平成28年1月に沖縄県企業局がPFOS（ペルフルオロオクタンスルホン酸）について嘉手納基地周辺の河川や地下水中に含まれているという調査結果を公表し、取水を停止したことを受け、沖縄県環境部では企業局が調査を行っている水道水源を除く主な河川・地下水等35地点において今年度から夏季・冬季調査を実施することとしました。

8月から9月に採取した夏季の水質サンプルを分析した結果、宜野湾市にあるヒヤカーガー、チュンナガー、メンダカリヒージャーガーの3つの湧水において、高濃度のPFOS及びPFOA（ペルフルオロオクタン酸）が検出されました。

今回の調査結果によると普天間飛行場の上流側地下水では濃度が低いこと、全国でも空港周辺において高濃度で検出される事例があること、汚染源となる工場等が調査地点の周辺に存在しないことから、高濃度PFOS等検出の原因が普天間飛行場内に存在する可能性も考えられます。

つきましては、下記の事項について要請しますので、平成29年2月27日までに文書により回答をお願いします。

#### 記

- 1 米軍に現在の普天間飛行場におけるPFOS等の使用状況を確認し、現在もPFOS等を使用している実態があれば、PFOS等による環境汚染を防止するため、代替品への置き換えなど適正な対策を取るよう米軍に働きかけて頂きたい。
- 2 普天間飛行場における現在までのPFOS等の管理状況、使用履歴（使用目的・使用場所・使用量）、漏洩事故の有無及び、事故があれば事故の地点・事故時の対応等の記録を明らかにするよう米軍に働きかけて頂きたい。
- 3 宜野湾市内で確認されたPFOS等による地下水汚染の原因を確認するための調査について、その内容や役割等について、米軍・沖縄防衛局・沖縄県が調整する場を設けて頂きたい。